

# MATSUMOTO YAMAGA F.C.

## VS JAPAN Soccer College

Sunday 24 May

09 HFL Division 1 week 6

みんなでホームをつくろう！

開幕戦からおよそ一月半。アウェイでの4連戦を経て、ようやく我が松本山雅がホーム・アルウィンに帰ってきました！ここまでの戦績は4勝1分の勝ち点13ということで、首位での地元凱旋になります。アウェイの試合も行ってみるとかなり楽しいものなのですが、やはりホームは特別です。何と云っても、スタジアムの中でのサポーターの比率が高い！メイン、バック、ゴール裏の全てのスタンドがグリーンで満たされていますからね。松本という街や、山雅というクラブの全てが、このアルウィンという箱に凝縮されたようなこの感覚は、ホームゲーム独特のものだと思います。

そして、だからこそホームでは、鳥肌が立つような最高の雰囲気の中で、選手たちに戦わせてあげたいと思うんです！サポーターはピッチを360度ぐるりと囲むスタンドから、90分間圧倒的な応援を、選手たちに向けて降らし続ける。選手たちはサポーターから発せられる声を、拍手を、空気を感じながら、それを力に変えて最後の最後まで勝利を目指しプレーする。そして勝利を掴んだ時には、山雅の為に闘うすべての仲間と共に喜びを分かち合う。そんな素晴らしい光景が毎週のように見られるようになったら、最高だと思いませんか？

今はまだ、足りないことはたくさんあります。サポーターの数はまだまだ少ないし、応援だって発展途上です。僕らが目指す雰囲気を作り出すためには、壁がたくさんあります。

だけど、壁があるならそれを乗り越える努力をすればいい！その試みの一つが、今年、僕らウルトラスが提案させていただいた「日本一拍手に満たされたスタジアムへ」というキャンペーンです。

このキャンペーンは、最も基本的な応援の手段である「拍手」でスタジアムを満たして選手をより励まし、最後まで全てのサポーターが拍手による一体感をもって戦うためのものです。だからこそ、一人でも多くのサポーターに「拍手」を意識してほしいと思います。全てのサポーターが跳び跳ねて歌うのは難しいかもしれませんが、拍手ならばもっと気軽にみんなが参加できるはずですよ。まずはそこから、「最高のホームの雰囲気」を作っていきたいと思っています！

先週の信州ダービーでのバックスタンドの応援は、本当に素晴らしかったです。メインやバックにも、熱い気持ちを持ったサポーターがたくさんいるということ、改めて思いました。そんな皆さんと一緒にやるからこそ、きっと今以上に素晴らしい雰囲気を作り出せると確信しています。今年は、リーグを勝ち抜けばアルウィンで地域決勝を戦うことができるという話もあります。その時に最高のホームの雰囲気選手たちの背中を押せるように。是非これからいっしょにやってみましょう！

さて、ということで上位決戦第2戦、JSC戦です！念願のJFLへ行くには、絶対に越えなければならない壁と云っていいでしょう。相手に不足無し。遠慮する必要はありません！どうぞ思いっきりホームチームへと声を、拍手を送って下さい！頂へとたどり着くための一歩を、今日、みんなで踏み出しましょう！応援よろしくお祈りします！！

【written by ようへい】

恥ずかしながら、帰って参りました！如何なる神の思召しか、何と4戦連続アウェイというスケジュールで、1ヶ月間アルウィンでの試合がないという非常事態(全社予選除く)。

この1ヶ月というのは、結婚を約束していた彼女に振られたり、先物取引で焦げ付かせて全財産を使い果たしたりするのに充分過ぎる時間。さぞ皆様も首を長〜〜くしておられたのではないかと思います。この1ヶ月間、松本山雅にも色々な出来事がありました。嗚呼、目を閉じるだけでこの日々が走馬灯のように浮かんできます。多発する怪我人、噛み合わない3トップ、フワフワした最終ライン……。全ては遠い日の花火のようです。「何とかかなるでしょう！」と根拠皆無のポジティブ思考で誤魔化しては来ましたが、イマイチ何ともならないまま、今日に至った次第です。

昨年からのぎを削り合ってきたJAPANサッカーカレッジが今日の対戦相手です。これまでも増して、その顔触れは豪華絢爛と言うのに相応しいです(コーチについては武士の情けで触れない方向で)。元Jリーガーをこれでもか補強。「プロのサッカー選手を目指すための専門学校なのに、元Jでスタメンを固めて学生が試合に出られないってのは本末転倒なんじゃないかな？」というプチ疑問も弾き飛ばさんばかりの勢いなのです。まさに試金石。真の松本山雅が試される日が訪れました。

「幸せだって叫んでくれよ。」

とりあえずここまではヨタヨタながら無敗で来ました。ここからは先はクラブ全体の総合力の勝負になる、と自分では思っています。それは単純に選手の個人のかか監督の戦術とかだけじゃなくって、クラブを取り巻く環境とかサポーターの後押しとか。それって数字に換算することは出来ないけれどすごく大切なものだと思うんです。

長野パルセイロ戦のゴール裏とバックのハーモニーは凄く良かった。雨の中、正直その場に座っているだけでも体力を消耗するような環境。でも選手がピッチの上で歯を食いしばって戦っているのを目の前にしているわけです。頑張るよ、12番目の戦士だって。戦えるよ。仲間と助け合って、やって行ける。

僕たちが目指すのは理想郷じゃない。だけど胸を張って、前を見て歩こう。希望の光なんてなかったっていいじゃないか！

【written by sapo】